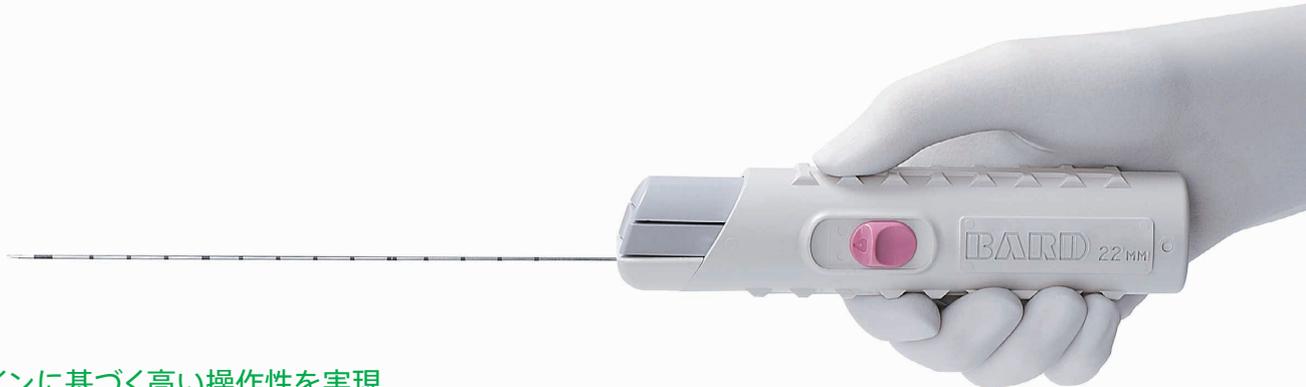


ディスプレイブル自動生検針

# バード<sup>TM</sup> モノプティ<sup>TM</sup> (マックスコア) 組織生検針



人間工学デザインに基づく高い操作性を実現

ニードル進入深度 (ストローク)

22  
mm

ニードルの太さ (ゲージサイズ)

14  
G

16  
G

18  
G

20  
G



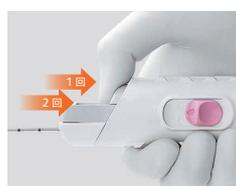
操作性を考慮したディスプレイブル  
ディスプレイブルタイプの自動生検針です。  
ストローク (進入深度) は、22mm です。  
本体は、軽量で持ちやすく、滑りにくいデザインになっています。

グリーン 14G

パープル 16G

ピンク 18G

イエロー 20G



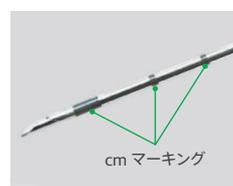
片手操作可能

片手で上部、下部スライ  
ドを順に引くことによ  
り、片手で生検の準備  
ができます。



2ヶ所の作動ボタン

作動ボタンが2ヶ所 (側  
方と後方) にあり、持  
ち方によりどちらのボ  
タンでも作動できます。  
作動ボタンの色で針の  
ゲージサイズが確認でき  
ます。



先端部の視認性

刺入深度の目安として、  
1cm 毎のマーキングと  
5cm 毎の太いマーキン  
グを表示しています。

## ORDERING INFORMATION

販売名: バード モノプティ [ボディ色: 白]

カタログ番号	規格	仕様	包装	カタログ番号	規格	仕様	包装	カタログ番号	規格	仕様	包装
● MC1410	14G×100mm	マックスコア ストローク長 22mm	5入	● MC1810	18G×100mm	マックスコア ストローク長 22mm	5入	● MC2010	20G×100mm	マックスコア ストローク長 22mm	5入
● MC1416	14G×160mm			● MC1816	18G×160mm			● MC2016	20G×160mm		
● MC1610	16G×100mm			● MC1820	18G×200mm			● MC2020	20G×200mm		
● MC1616	16G×160mm			● MC1825	18G×250mm						

承認番号: 20200BZY00725000  
クラス分類: [2] 管理医療機器  
一般的名称: 単回使用組織生検用針

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町 2 丁目 5 - 8 ☎ 0120-036-541

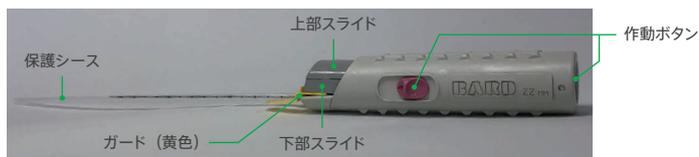
medisuke.jp

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.  
© 2021 BD. All rights reserved.  
BD-30594

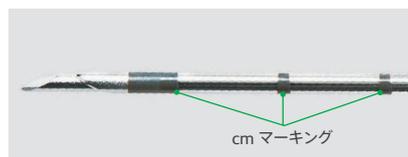


# バード™ モノプティ™ (マックスコア) 組織生検針 操作方法

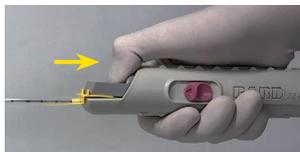
## ① 開封して本品を取り出す



針先の形状



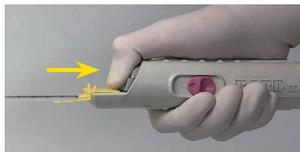
## ② 上部スライドをロックされるまで引き戻す



外筒が後退し、内針、試料ノッチが露出する



## ③ 下部スライドをロックされるまで引き戻す (=装置の準備が完了し、作動できる状態)

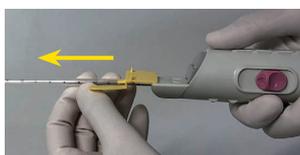


- 本品は上部、下部スライドを2段階で操作します。上部、下部スライドを同時に引き戻さないでください。
- 各スライドはそれぞれロックされるまで確実に引き戻してください。

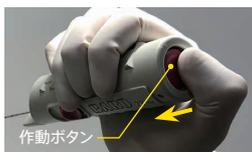
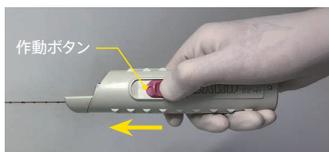
内針が後退する  
両スライドが後退しロックされていることを確認する



## ④ 保護シース (針カバー) と黄色のガードを取り除く



## ⑤ 体内に刺入し、作動させる (作動ボタン)



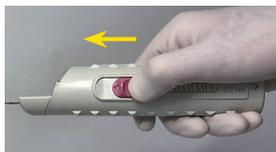
内針と外筒が瞬時に自動的に作動する  
針先は22mm 前進する (ストローク)



内針が22mm 突出

外筒が内針に被さる

本体の持ち方例



注意：本品のスライドを引き戻した後に、スライドの前方に指等を置かないようにすること [スライドの動きが妨害され、正常に作動しないおそれがある。]

## ⑥ ニードルを体内から引き抜き、上部スライドをロックされるまで引き戻し組織を採取する (採取した組織が現れるように外筒を後退させる)



## ⑦ さらに続けて生検する場合は、下部スライドを引き戻して⑤以降を繰り返す



### ご使用に際しての注意事項

- 作動準備後、生検前のプリテスト (体外で空中に向けて空撃ちすること) は行わないこと。 [ニードルが損傷し、患者及び術者が負傷する恐れがある。]
- ニードルの刺入を容易にするため、穿刺予定部の皮膚にメスで小切開を加えておく。
- 本品を骨生検には使用しないこと。
- 本品はディスプレイ製品につき、一人の患者に対してのみ使用し、再滅菌しないこと。

事前に必ず添付文書を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。  
本製品の添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の医薬品医療機器情報提供ホームページでも閲覧できます。  
製品の仕様・形状等は、改良等の理由により予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。